

令和 02 年度 事務事業評価書

新継区分	継続	事務事業名称	019 民間送迎バス活用事業				
担当部	030000 福祉部		課・室	030101 介護長寿課	所属長名	金城 美香	

(1) 基本情報

事業概要	基本目標	003 元気のつながるまち(健康・医療・福祉)	施策	006 高齢者保健福祉の充実
	事務事業期間	平成21年度～	会計種別	01 一般会計
	経費の性質	5 政策的経費	実施計画対象	1:対象
	実施方法	その他	実施根拠 (法令や条例等)	糸満市送迎バス活用事業実施要綱
	目的	・糸満市内の交通不便地域の解消に努める。 ・高齢者の外出を支援する。 ・自家用車を使わないことによる地域環境負荷を図る。		
	対象	市内在住の65歳以上の高齢者で、送迎バスに介助なしで乗降可能な方。		
要	活動内容	自家用送迎輸送を実施している事業者が有する送迎バスの空席を有効活用するため、当該事業者と協定を結ぶことにより事業を実施している。また、市において、利用者である高齢者の送迎バス搭乗中の傷害に備えて、傷害保険に係る費用を負担している。 協力事業所①糸満自動車学校②南部病院		
	意図(成果)	広報いとまにより周知を図っている。 政策推進課において、平成24年12月にアンケート調査を実施している。 事業導入5年経過に伴い、協力事業所(4事業者)に感謝状の贈呈あり。		

(2) コスト及び成果

		単位	H31年度決算	R02年度予算	R03年度予算	R04年度予算	R05年度予算
事業費	国庫支出金	千円	342	319	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	342	319	0	0	0

この事務事業の業務量を数値化したもの・・・活動指標			この事務事業の成果を数値化したもの・・・成果指標		
活動指標名	単位	左記の活動指標とした理由	成果指標名	単位	左記の成果指標とした理由
協力事業者	者・社	協力事業所があることで事業実施が可能。	利用者延人数	人	利用者数で事業の充実度が図れる。
登録者数	人	登録することで乗車可能。			

活動指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	協力事業者	者・社	計画値	4	4	3	3	3
			実績値	2	2	0	0	0
	登録者数	人	計画値	900	900	0	0	0
			実績値	845	831	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

成果指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	利用者延人数	人	計画値	4,347	4,347	0	0	0
			実績値	3,971	1,439	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

妥当性	①事務事業を実施する妥当性	● ○ ○ 目的は明確で上位の施策に結びついている 目的は上位の施策に結びついていない 内部管理経費のため、上位の施策に結びつかない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 第4次糸満市総合計画（後期基本計画）において、公共交通機関により高齢者の移動支援をしていくとともに、買い物や介護予防事業への参加のための支援を推進していくことが出来た。
	②行政が関与する妥当性	○ ○ ● ○ ○ 法令及び条例によりサービスが義務付けられている 国、県、市の協調によるもの 民間ではできない、または民間では実施していない 民間に同様・類似のサービスがあるが、質や量等が不十分なため、補完するもの 民間に同様・類似のサービスが存在する 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 本事業は民間事業者の協力のもと、空席を活用させてもらっているため、利用者の登録等を実施する必要がある。

必要性	③市民ニーズ	○ ○ ○ ○ ● 市民のニーズの有無に関わらず実施する必要がある 市民ニーズが増加傾向にある 市民ニーズが現状維持の傾向にある 市民ニーズが減少傾向にある 市民ニーズを把握していない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 新型コロナウイルス感染症の影響から、高齢者の外出の機会が減少したため、市民ニーズを把握していない。
	④現時点での優先性や緊急性	○ ● ○ ○ ○ 緊急事態への対応、最重要施策など最優先して実施する必要がある 日常的な安全、生活を確保するために実施する必要がある 公共サービスの平均的水準を確保するために実施する必要がある 現時点での優先性や緊急性は低いものの、市の将来のために実施した方がよい 現時点では必ずしも実施しなくてもよい 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 新型コロナウイルス感染症の影響から、高齢者の外出の機会が減少した。しかし、移動支援を確立することで、外出の機会を増え健康増進にもつながる。

公平性	⑤受益者負担は適切か	○ ○ ● ○ ○ 広く市民を対象としていることから適切である 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担があり適切である 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担となっていないため、見直しの余地がある 受益と負担の適正化を求める事業ではない（社会福祉等を目的とする事業など） 公平性の評価になじまない（内部管理業務など） 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 本事業の事業主体は民間事業者であり、市は事業に係る傷害保険の保険料を支出している。低額でも運賃収入を取れば、事業所の任意保険料を賄うことは可能と思われる。
-----	------------	---

効率性	⑥事業の成果を低下させずにコスト削減を図っているか否か	○ ○ ● かなり削減できている ある程度削減できている あまり削減できない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 市は事業に係る傷害保険の保険料を支出しているが、民間事業者の協力で空席を活用させてもらっており、保険料の負担を強いることはできない。
-----	-----------------------------	--

有効性	⑦成果指標の目標値(予測値)に対する達成度	○ ○ ○ 目標を上回る 目標を概ね達成している 目標をやや下回る 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 新型コロナウイルス感染症の影響から、高齢者の外出の機会が減少した
-----	-----------------------	---

(4) 評価の総括

所属長所見 1. 妥当性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 2. 必要性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 3. 公平性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 4. 効率性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 5. 有効性 ● 適切 ○ 見直す余地あり	総合評価 ・全て適切でA評価 A 現状どおり事業を進めることが妥当 ・適切3～4でB評価 B 事業内容や事業手法に改善を行う余地あり ・適切1～2でC評価 C 事業縮小または内容や手法に大幅な見直しが必要 ・全て見直しでD評価 D 事業の廃止や休止など、事業のあり方について検討する必要あり A
所属長所見 □ 拡大・充実 ■ 現状維持 □ 改善 □ 民間委託 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 □ 完了	改革改善案（総合評価でA評価の場合は記載不要）